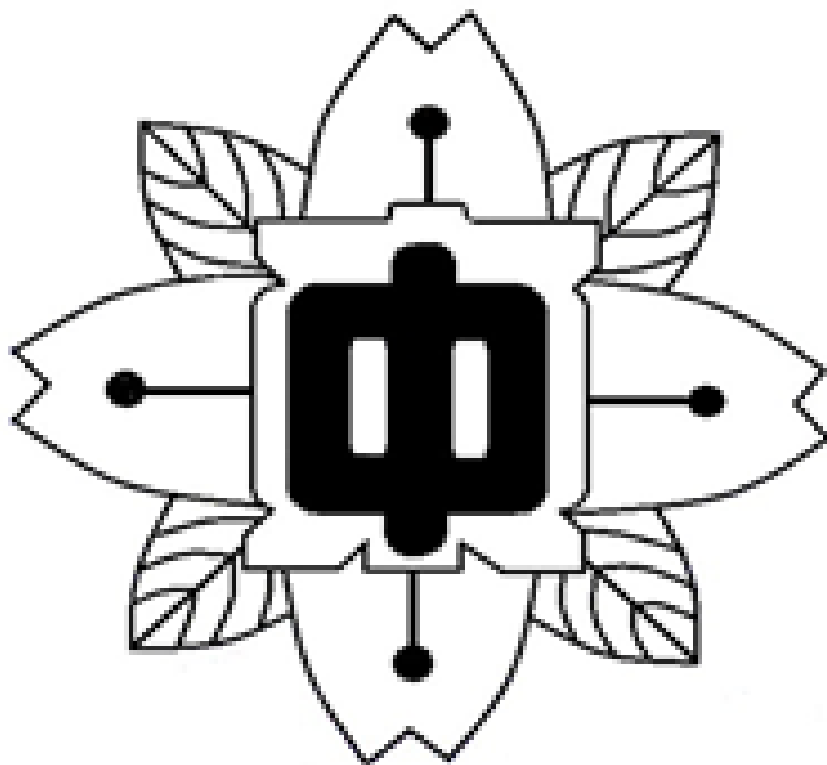


令和6年度

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

(アンケート集計結果からの提言)



令和7年1月

世田谷区立東深沢中学校

学校関係者評価委員会

令和7年度 学校関係者評価報告書(校長への提言)

1 概 要

以下の資料等にのっとり、生徒、保護者、地域の方々へのアンケートをはじめ、自己評価及び学校観察等を実施し、提言方針を示した上で総合評価(校長への提言)としてまとめました。

資料名

世田谷マネジメントスタンダード (平成28年3月世田谷区教育委員会)

世田谷区立学校 学校評価システム

2 調査対象と回答数及び回答率【今年度は、Web 方式によるアンケート】

対象	配布数	回答数	回答率(%)
保護者	440	142	33%
生徒	440	411	93%
地域	99	48	48%
教職員	32	32	100%

*教職員数には校長・副校長は含まない

3 調査時期 令和6年11月上旬から11月中旬

4 提言方針

(1) 次年度へ向けて

保護者、生徒、地域を集計、その割合(%)をグラフで表示(世田谷区教育委員会による)、各数値等評価結果を、十分に把握・分析し、東深沢中学校の改善すべき点で、直ちに実行できる改善は実行するとともに、次年度に向けた計画を進めていただくよう提言する。

(2) 自己評価報告書について

自己評価の方法、結果の内容、結果を踏まえた改善方法はいずれも適切である。

(3) 改善策の提示

学校関係者評価報告書(校長への提言)を資料とし、東深沢中学校からの改善策を提示していただきたい。

5 提言内容

各学校関係者評価委員から

◎星野 浩二氏(学校関係者評価委員長)(学識経験者)

【生徒】

① 学習指導

生徒が授業に概ね満足している。今後も授業の中での話し合い活動を取り入れていく。また、生徒の習熟度に応じた授業の展開を工夫する。評価については年度当初、丁寧に説明していく。

② 生活指導

あらゆる機会で、生徒と先生の信頼関係の構築があり絆がある。

③ 学校行事

満足度が非常に高い。

④ キャリア教育

新しい質問項目「学ぶことが楽しい」については、各教科の授業の中で学んでいることが世の中とどのようにつながっているかを示す。

⑤ 先生について

「HIGASHI絆タイム」等の成果で先生と生徒の良好な信頼関係が伺える。

⑥ 全般について

学校生活が楽しく達成感があるという評価が高くなっている。学び舎の活動の見直しを図る。

⑦ 部活動

部活動に参加している生徒は高評価である。部活動に入部していない生徒は除く。

⑧ その他

生徒の思いやりの心や共生する心が伸びている。あらゆる機会での「心の教育」の成果である。

【保護者】

① 学習指導

学校公開等で保護者が授業参観しやすい環境づくり。校内研修の研究授業の工夫などの情報発信をする。

② 生活指導

保護者は、自分の子どもや他の生徒から落ち着いた校風を感じている。

③ 学校行事

高評価であり生徒の成長に学校行事が大きく関わっていることを理解している。

④ キャリア教育

肯定的評価が低下した。キャリア教育の情報発信をあらゆる機会ですていく。

⑤ 教職員

教職員への保護者の厚い信頼が伺える。

⑥ 全般

生徒が学校生活を楽しみ達成感を感じていると強く思っている。「学び舎」の取り組みの情報発信をする。

⑦ 部活動

部活動が生徒の成長に濃厚に関与していると思っている。

⑧ 情報提供

各たより、ホームページでの情報提供の充実と学校公開や保護者会の充実を図る。

⑨ 学校運営

「指導の重点」の周知に努める。

⑩ 家庭と学校の連携

学校公開で授業参観後にキャリア教育〈進路指導〉等の学習会を行う。

⑪ 地域との連携

地域と学校との具体的な協働行事等を情報発信していく。

⑫ 学校の安全性

地震等の自然災害時の対応についての啓蒙と実践が求められている。

⑬ その他

保護者は、自分の子どもは正しい判断で行動ができ、良好な人間関係を結ぶことができていると思っている。

【地域】

地域と学校との情報の共有化。学校から地域への積極的な情報発信。地域行事への学校・生徒・保護者の参加促進。

◎黒木 勉氏(学校協議会会員)

【生徒】

1 年生～3年生まで学習指導、生活指導、学校行事等全般において、ここ数年変わりなく肯定的回答が多く、安心しています。キャリア教育については1年生2年生では、まだ理解できていないようですが、3年生になると社会へのかかわり方を理解し始め自立に向かっているようです。

【保護者】

生徒のアンケート結果と保護者のアンケート結果が、『学習指導』『生活指導』についてはかなりの開きがあるようです。先生方の指導、学校での生活や情報提供などは肯定的な回答です。仕事などで学校行事、学校公開に参加が難しいこともあるのでしょうか。

【地域】

地域の方の評価は、学校との関わり方によって違ってくると思われます。今回否定的回答が多かったのは、『地域の意見に対して説明・対応をしている』と『ボランティア活動や地域行事に参加している』の2つの項目です。地域も学校に対して丁寧に説明していくべきと思っています。

今回のアンケートでも先生方それぞれが生徒に寄り添い、信念をもって取り組んでくださっているのがよくわかります。今後とも子どもたちが安心して通える学校であるようお願いします。

◎井原 久美子氏(学識経験者)

【生徒】

本年度も、全体的に学校生活、とりわけ学校行事の楽しさや満足度が高い結果が見られました。

今回、独自項目である「自分の良いところを理解している」や「思いやりの心、認め合う心で接している」の項目で評価が高い結果が見られました。先生方の前向きな姿勢や先生と生徒の活発なコミュニケーションなどの取り組みが結果に繋がったものと考えられます。

さらに、学び舎や地域との関わりを大切にする評価が非常に高く、今年度の改善方策に基づく体験による気づきや「活動の見える化」など、積極的な取り組みの成果と考えます。

一方、「キャリア教育」については、残念ながら昨年度と比較して肯定的な意見が減少しました。目の前の勉強や生活と、将来の職業との結びつきを実感しにくいことも一つ考えられるかもしれません。社会が仕事によって成り立っていることを踏まえ、社会での経験(会社や施設訪問など)や職業講話を通じて、実体験による取り組みが生徒たちのキャリア形成に繋がることを期待しています。

最後に、学習指導面において ICT の活用が積極的に取り入れられている一方、生徒の肯定的な意見はやや停滞している状況でした。ICT の世界は日々めまぐるしく進化しており、「教育 DX」推進のもと、学校の今後の取り組みにも期待しています。

【保護者】

今年度も全体的に学校生活に対する肯定的な評価が 9 割以上という素晴らしい結果となりました。特に、生徒のアンケート結果でも高評価を得た「自ら考え行動する意識」や「思いやりや認め合う心」において、保護者からも同様に肯定的に認められたことが明らかになりました。活発で温かい生徒が溢れる学校であることが伺えます。

一方で、学習指導および学校運営に関する項目について、昨年度に比べて肯定的意見が若干減り、「わからない」回答が増加していた点が気になりました。コミュニケーションや発信などの工夫が求められていると考えられます。また、キャリア教育については、保護者への学校の取り組みの周知が十分でない様子が伺えました。これを改善する一環として、地域の大学生や現役で働く保護者の協力を募り、生徒の実体験を増やすことも有効な手段かと考えました。

【地域】

今年度も、学校からの情報提供やボランティア活動などを通じ、地域との関係が充実していることが伺えました。前述のように、生徒もその関わりに非常に肯定的でした。昨今は学校の安全性が重要視されており、安心や安全を高めるためにも学校は地域との連携を大切にされていることがわかります。地域の方々からも肯定的な評価を受けており、両者の信頼関係が良好であると感じました。今後も学校と地域が引き続き連携し、安全で豊かな学びの環境を守って頂きたいと思います。

◎渡邊 修氏(卒業生代表)

【生徒】

本年度のアンケートも各項目で高評価となっています。

「生活指導について」は昨年度から向上しており、3 年生が特に高評価となっています。

「学校行事について」も例年高評価となっていますが、今年度はさらに上がっています。

学校行事や学校生活が楽しいと思う生徒が大多数となっている事からも、

生徒にとって中学校での3年間がとても大切な時間になっていると感じられます。

「小学校との交流の機会」については、全学年とも低評価となっているので、

みしまの森学舎として、世田谷9年教育を充実出来るように、

今よりも交流の機会を増やしていただきたいと思います。

【保護者】

保護者アンケートも全体的に高評価となっています。

「学校行事について」や「教職員について」の項目は、保護者の評価がとても高く、「学校生活は子どもにとって楽しい」の高評価にも繋がり、保護者からの学校や先生への信頼が見えてきます。

「学校の指導の重点を理解している」への回答は、あまり思わない が全学年で多くなっているので、周知の工夫が必要かと思います。

【地域】

地域アンケートも全体的に高評価となっていますが、全体的に 分からない が増えています。特に学校行事の案内や学校運営については10ポイント以上増えているので、地域への案内も工夫を検討ください。

「学校の安全性について」は、かなりの高評価です。

東深沢中は、コミュニティーやスポーツ文化クラブなど学校に協力的な方が多い

地域にありますので、今後も地域と協力していただければと思います。

◎福島 美由紀氏(卒業生保護者代表前 PTA 副会長)

【生徒】

全体的に学校に対する評価は高い。

ICT を活用した授業の進め方が恒常化し、主体的・対話的で深い学びの成果が上がっていることが見て取れる。同様に学校行事の満足度を多くの生徒が感じていることは、先生が生徒の意欲や自主性を認めていることに繋がっていると感じられる。

2学年が「先生はていねいに指導してくれる」が、相談するには距離を感じている生徒が多くいることが気にかかる。思春期の難しい年代の子ども達の心に寄り添っていただける指導を今後も望みたい。

自分の将来について考えるキャリア教育に関しては、数年前に見直した成果が実を結びつつあるのではないかと。学年が上がるにつれ、生徒自身の充実感が伺える。

自ら考え判断し行動する生徒、思いやりの心や認め合う心を持ち友だちと接している生徒が全学年で90%以上いることが、大変素晴らしい。

【保護者】

1学年保護者の多くが、子どもの学校生活の充実さに高評価を上げていることは入学前からの本校の評判の高さが伺える。

学年が上がるにつれ、教職員、学校運営に関して「あまり思わない」項目の数値が高く表示されている点が気になる。しかしこれは、保護者の持つ高い意識が「学校全体」への期待度の現れであるとも思われるため、今後この乖離が少なくなるよう学校がどのように取り組んでいくかを注視していきたい。

また、本校の学習指導について「わからない」という項目が高いが、こちらは是非、公開授業等に足を運んでいただきたいと切に願う。

【地域】

ホームページや学校だよりからの情報提供から概ね高評価を得ているが、地域との連携に関して周知の行き届いていない面も見受けられる。

また、子ども達のボランティア活動においては今以上に期待していることが伺える。

◎影山 めぐみ氏(保護者代表PTA副会長)

【生徒】

全体的に学習、生活、学校行事、部活動についての評価が高く、先生方と地域の方々のご指導の元、生徒たちが目標を持ち、達成感を感じている結果と思われます。

キャリア教育についての取り組みは、家庭でも話し合う機会を増やしたいと思っていますが、将来の自分について考える為にも引き続き学校からの指導に期待しています。

授業時間も限られる中ですが、学び舎の小学生との交流も続けて頂きたいです。

【保護者】

学校行事と情報提供については評価が高く、お便り、ホームページ、すぐーるなどで詳細が保護者に伝わっている結果と思われます。

時代と共に PTA や地域の行事などへ参加する機会が少なくなっていますが、色々なツールでの周知が必要かと思われます。

【地域】

全体的に高評価となっていますが、全項目で、「分からない」の回答も多く、よりよい関係を築くためには情報共有やコミュニケーションを円滑に行うことも必要と思われます。

地域との連携については、コロナ禍明け後、地域行事も増える中では良好な関係が伺えます。

